NTT docomo

BF-01B
取扱説明書

このたびは、BF-01B をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本書は、本商品の設置や初期設定、困ったときの対策方法などについて説明しています。使用前に必ず本書をお読みください。

BF-01B をお買い上げのお客様へ

＜お詫びと訂正＞

「BF-01B 取扱説明書」の記載内容に誤りがございましたので、お詫びいたしますと共に訂正させていただきます。

ページ	訂正箇所	誤	正
112	ACアダプタ 入力仕様	**AC100～24V** 50/60Hz 11.2～14.8VA	**AC100～240V** 50/60Hz 11.2～14.8VA

35011677 ver.01

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

■文中マーク／用語表記

⚠注意 マーク　製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

メモ マーク　製品の取り扱いに関する補足事項、知っておくべき事項です。

▶参照 マーク　関連のある項目のページを記しています。

- 文中[ ]で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタン、テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表しています。
- 文中「 」で囲んだ名称は、ソフトウェアやダイアログボックスの名称を表しています。

■ 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

■ 本書の内容やホームページの URL および記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

■ 本商品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。

・ 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・ 一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 本商品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、当社は、本商品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本商品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本商品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

■ 本商品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 危険	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す内容を示します。 （例：感電注意)
⃠	してはいけない事項(禁止事項)を示します。 （例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。 （例：電源プラグをコンセントから抜く）

BF-01B 本体について





強制

専用の周辺機器をお使いください。発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

・電池パック　・AC アダプタ



禁止

高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、こたつの中、炎天下など)での使用や保管・放置はしないでください。

発火・破裂・故障・火災や低温やけどの原因となります。製品の使用温度範囲を守ってください。



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器などの中に入れないでください。

火災・やけど・けが・感電の原因となります。



禁止

本商品の分解や改造や修理を自分でしないでください。

火災・やけど・けが・感電の原因となります。



禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告



禁止

充電端子やそのほかの接続端子をショートさせないでください。また、充電端子やその他接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入れたりしないようにしてください。

火災・やけど・けが・感電や故障の原因になる場合があります。



強制

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に FOMA 端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。



強制

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。



ぬれ手禁止

濡れた手で本商品や AC アダプタのコード、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



強制

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 電源を切る。
- 電池パックを取り外す。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所では、使用・保管しないでください。

禁止

やけど、感電の原因となります。



本商品が落下などにより破損し、本商品の内部が露出した場合は、露出部に手を触れないでください。

禁止

やけど・けが・感電の原因となります。

⚠注意



各接続コネクタや電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

強制

火災、やけど、感電の原因となります。



次の場所には、設置および保管をしないでください。感電、火災の原因となったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。

禁止

・強い磁界、静電気が発生するところ
故障の原因となります。

・振動が発生するところ
けが、故障、破損の原因となります。

・平らでないところ
転倒したり落下して、けが、故障の原因となります。

・直射日光が当たるところ
故障や変形の原因となります。

・火気の周辺、または熱気のこもるところ
故障や変形の原因となります。

・ガソリンスタンドなど、引火ガスが発生する場所

・漏電、漏水の危険があるところ
故障や感電の原因となります。

・ほこりの多いところ
故障の原因となります。



禁止

充電中や動作中の本商品・電池パック・ACアダプタに長時間触れないでください。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。



禁止

シャツやズボンなどのポケットに入れたまま使用しないでください。

低温やけど、体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じる恐れがあります。



強制

本商品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

電池パックについて

P.2 ～ 5 の注意事項以外に、下記にも注意してください。
※電池パックはリチウムイオン電池です。



Li-ion 00





強制

電池パックを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
- 分解、改造、修理をしないでください。
- 火の中に投下しないでください。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
- 火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の室内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電池パックを取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
- 他の機器に使用しないでください。
- 端子に直接ハンダ付けしないでください。

火災・やけど・けが・感電・発熱・発火・破裂の原因となります。



強制

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。


禁止

電池パックは乳幼児の手の届くところに置かないでください。

電池パックを誤って飲み込むと、窒息や中毒を起こす危険があります。特に小さなお子様のいるご家庭では、手の届かないところで保管・使用するなど、ご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。


禁止

本商品本体と付属のACアダプタ、USBケーブル以外での充電はしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告



強制

電池パックを取り扱うときは、次のことを守ってください。

・強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
・落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
・ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
・種類の異なる電池パックや異なるメーカーの電池パックを使用しないでください。
・電極の(＋)と(－)を間違えて挿入しないでください。
・消耗しきった電池パックを入れたままにしないでください。
・保証充電回数を超えて使用しないでください。(交換電池パックについては、「電池パックについて」(P.19)をご覧ください。)

火災・やけど・けが・感電・発熱、発火、破裂する恐れがあります。



強制

長時間ご使用にならない場合は、電池パックを本体から取り外してください。取り外した電池パックの保管および持ち運びの際には、次のことを守ってください。

・端子をショートさせない。(端子にテープ止めなどのカバーをしてください。)
・電池パックを 60 ℃以上にしない。



強制

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因になります。



強制

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

・電源プラグをコンセントから抜く。
・電源を切る。
・電池パックを取り外す。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

分解・改造をしないでください。

電池パックの液体が飛び出し、目に入って失明の恐れや、発熱・破裂・発火の原因となります。



強制

電池パックを使用・交換するときは、指定の電池パックを使用してください。

指定以外の電池パックを使用すると、液漏れ・発熱・破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。

 注意



禁止

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

ACアダプタについて

⚠危険


禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。


禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


強制

使用する電池パックおよびACアダプタは、ＮＴＴドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告


禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



AC アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、AC アダプタには触れないでください。

感電の原因となります。



コンセントにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



AC アダプタやコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



コンセントに AC アダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



濡れた手で AC アダプタのコード、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



強制

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

・電源プラグをコンセントから抜く。
・本体の電源を切る。
・電池パックを取り外す。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



強制

指定の電源、電圧(AC100V、50/60Hz)で使用してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。



強制

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。



強制

AC アダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



強制

AC アダプタをコンセントから抜く場合は、コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

電源プラグを抜く

火災、やけど、感電の原因となります。

⚠注意



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

禁止

落下して、けがの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

禁止

火災、やけど、感電の原因となります。



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

強制

けがなどの原因となります。



乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

強制



布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

クレードルについて

⚠危険


禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。


禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


禁止

分解や改造をしないでください。

火災・やけど・けが・感電の原因となります。


禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


禁止

BF-01Bに使用する電池パックおよびACアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告


禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


禁止

コネクタに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


禁止

風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。


禁止

コンセントにつながれた状態でコネクタをショートさせないでください。また、コネクタに手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。


ぬれ手
禁止

ぬれた手で、クレードルに触れないでください。

感電の原因となります。


強制

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

・電源プラグをコンセントから抜く。
・電源を切る。
・電池パックを取り外す。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


強制

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。


強制

お手入れの際は、AC アダプタをコンセントから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

⚠注意


禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下してけがの原因となります。


禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。


強制

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

以下の内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する方針」（電波環境協議会）に準じています。

⚠警告



強制

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波の影響で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。



強制

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性がありますので、本商品およびパソコン、無線 LAN 機器の電源を切り、本商品の使用を控えてください。

電波の影響で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。



強制

医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本商品を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本商品およびパソコン、無線LAN機器の電源を切り、本商品を使用しないでください。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本商品およびパソコン、無線 LAN 機器の電源を切り、本商品を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



強制

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波の影響で電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

■取り扱い上のお願い

本商品について

本商品には、接続したアクセスポイントやサインインしたユーザー名 / パスワードなどを記憶することができます。本商品を紛失した際、ユーザー名/パスワードなどの登録情報が流出する恐れがありますので、本商品に取り扱いには十分注意してください。

電池パックについて

本商品専用の電池パック以外は使用しないでください。

電池パックには寿命があります。保証充電回数に達したり、指定の時間充電しても十分に充電できなくなってきたら、新しい電池パックに交換する必要があります。

■電波に関する注意

無線 **LAN** 機器の電波に関するご注意

本商品を **IEEE802.11b**、**IEEE802.11g** で利用時は、**2.4GHz** 帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、本書に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

本商品を **IEEE802.11a** で利用時は、**5GHz** 帯域の電波を使用します。**5.2GHz/5.3GHz** 帯域の屋外での使用は電波法により禁じられています。

- **本商品は、日本国内でのみ使用できます。**
- **次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。**
  - 強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
  - 金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
  - 異なる階の部屋どうし
- **本商品と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。**
- **本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**

- **本商品を 5.2GHz/5.3GHz 帯で使用する場合、屋外で使用しないでください。法令により 5.2GHz/5.3GHz 無線機器を屋外で使用することは禁止されています。**

IEEE802.11b/g		
IEEE802.11a		
J52	W52	W53

※電波法により、W52,W53は屋外使用禁止です。

W52：使用可能なチャンネルは、36/40/44/48ch です。
W53：使用可能なチャンネルは、52/56/60/64ch です。

- **本商品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。**
  - 本商品を分解 / 改造すること
- **本商品は、他社無線 LAN カードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。**
- **本商品は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。**

本商品に表示した 2.4 DS/OF 4 は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
DS/OF	変調方式	DS-SS および OFDM 方式
4	想定干渉距離	40m 以下
▬ ▬ ▬	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

- **通信中は、本商品を身体から 15mm 以上離してご使用ください。**

■無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流したり、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が行われていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティーに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティーの設定などについて、ご不明な点があれば、本書の裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

当社では、お客様がセキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティー対策を行わず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティーの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

4 インターネット接続設定 67

5 困ったときは...97

6　付録 109

MEMO



1 はじめに

おもな特長

本商品のおもな特長は次のとおりです。

- 本体に NTT ドコモの「FOMA HIGH-SPEED」（受信最大 7.2Mbps、送信最大 5.7Mbps）に接続可能な通信モジュールを内蔵、バッテリーを搭載し、持ち運び可能な無線 LAN ルータ。
- Mzone などの公衆無線 LAN エリアでは、インターネット接続を FOMA 回線から公衆無線 LAN 回線に自動切替。
- 同梱のクレードルにより、有線ポート接続、充電が可能。
- 無線 LAN 機器との接続は、AOSS・WPS を利用してワンタッチで接続可能。

動作環境

本商品の動作環境は次のとおりです。

対応機器

iPad、iPod touch、ゲーム機（ニンテンドーDS®、PSP®「プレイステーション・ポータブル」）および無線 LAN に対応したパソコン

対応 OS（パソコン）

Windows 7（32bit/64bit）、Vista（32bit/64bit）、XP（32bit）、Mac OS X（10.4 以降 ）

※ Windows 7 は、Starter/Home Premium/Professional/Ultimate に対応しています。

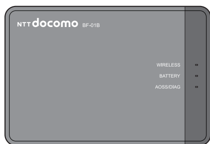
※ Windows Vista は、Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate に対応しています。

対応ブラウザ

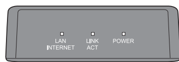
Internet Explorer 6.0 以降、Firefox、ニンテンドー DS ブラウザ、ニンテンドー DSi ブラウザ、PSP® インターネットブラウザ、Internet Explorer Mobile、Opera Mobile 9.x 以降、Safari 3.0 以降（Mac OS/iPad/iPod touch）

本体付属品

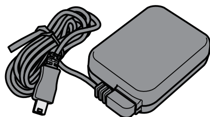
インストールを始める前に、本体付属品がすべて揃っていることを確認してください。



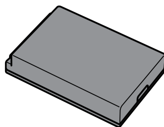
無線親機（BF-01B）本体
（リアカバー BF01、保証書含む）



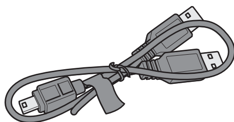
卓上クレードル BF01（保証書含む）



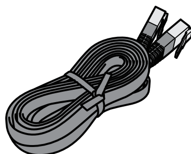
AC アダプタ BF01（保証書含む）



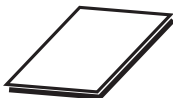
電池パック BF01



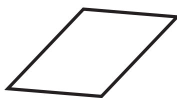
USB ケーブル BF01



LAN ケーブル（試供品）



取扱説明書（本書）

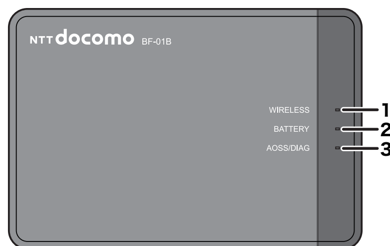


モバイル機器接続ガイド

メモ 別紙で追加情報が添付されている場合は、必ず参照してください。

各部の名称とはたらき

本体前面



1．WIRELESS ランプ

点灯（青）	：3G（FOMA）回線接続時
点灯（緑）	：Wi-Fi 接続時
点灯（赤）	：3G（FOMA）回線および Wi-Fi 圏外時、有線 Internet 未接続時
点滅（青）	：3G（FOMA）回線で通信中
点滅（緑）	：Wi-Fi で通信中
点灯（黄）	：スタンバイモード時
消灯	：有線 Internet 接続時

2．BATTERY ランプ

点灯（青）	：電池残量が 50% 以上 本商品の電源が ON の状態で充電が完了
点灯（緑）	：電池残量が 50 ～ 25%
点灯（赤）	：電池残量が 25 ～ 10%
点滅（赤）	：電池残量が 10% 未満
点灯（黄）	：充電中
消灯	：本商品の電源が OFF の状態で充電が完了

※ 電池残量についてはおおよその目安です。

3. AOSS/DIAG ランプ

点灯（黄）　　：セキュリティーキー交換処理に成功（AOSS/WPS 成功）/ 暗号化設定済み

2 回点滅（青）：本商品がセキュリティーキー交換処理を行える状態
（LAN 側　：AOSS/WPS 待機中）
（Internet 側：AOSS 待機中）

2 回点滅（黄）：本商品の Internet 側が他の機器とセキュリティーキー交換処理を開始した状態

連続点滅（青）：セキュリティーキー交換処理に失敗（AOSS/WPS 失敗）

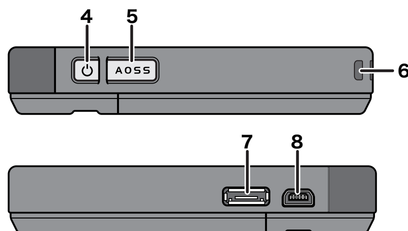
点滅（赤）　　：点滅回数により、本商品の状態を示します。

点滅（赤）状態	内容	状態
3 回点滅※1	有線 LAN 異常	有線 LAN コントローラが故障しています。
4 回点滅※1	無線 LAN 異常	無線 LAN コントローラが故障しています。
5 回点滅	IP アドレス設定異常	Internet 側と LAN 側のネットワークアドレスが同じのため通信できません。本商品の LAN 側 IP アドレスの設定を変更してください。
6 回点滅	温度異常	本商品の内部温度が高くなっています。本商品の電源を OFF にして、しばらく経ってからご使用ください。
連続点滅※2	・システム起動中 ・ファームウェア更新中 ・設定保存中 ・初期化中 ・microSD カードにアクセス中	・システムを起動しています。 ・ファームウェアを更新しています。 ・設定を保存しています。 ・設定を初期化しています。 ・microSD カードにアクセスしています。

※ 1 AC アダプタを本商品から取り外した後、本商品の電源を OFF にし、電池パックを取り外してください。その後、しばらくしてから電池パックを元に戻してください。

※ 2 連続点滅中は、電源を OFF にしないでください。本商品が故障する恐れがあります。

本体側面



4．電源ボタン

電源 OFF の状態で本商品の電源ボタンを約３秒間押し続けると、電源が ON になります。本商品の動作中に約３秒間電源ボタンを押し続けると、電源が OFF になります。

5．AOSS ボタン

本商品の電源が ON の状態で、AOSS/DIAG ランプが青色に点滅するまで（約３秒間）ボタンを押すと、本商品がセキュリティーキー交換処理を行える状態（AOSS 動作状態）になります。

6．ストラップホール

市販のストラップを取り付けることができます。

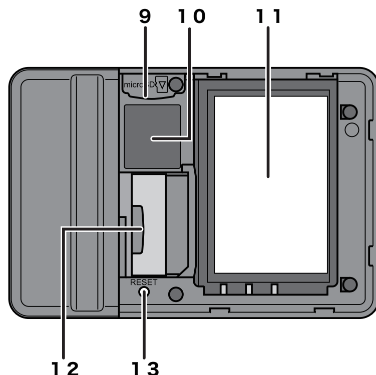
7．クレードルコネクタ

付属のクレードルを接続します。

８．mini USB コネクタ

付属の AC アダプタや USB ケーブルを接続します。

本体背面



９． microSD カードスロット

市販の microSD カード（microSDHC カードを含む）を挿入します。

１０．初期値ラベル

本商品の初期値の SSID や暗号化キーなどが記載されています。

１１．電池ボックス

付属の電池パックをセットします。

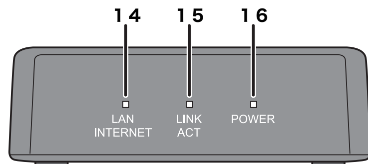
１２．USIM カードスロット

FOMA カードを挿入します。

１３．リセットスイッチ（RESET）

本商品の電源が ON の状態で、AOSS/DIAG ランプが赤色に点滅するまで（約３秒間）スイッチを押し続けると、本商品の設定が初期化されます。

クレードル前面



１４．LAN/INTERNET ランプ

点灯（緑）　：有線ポートが LAN ポートとして設定されている場合
消灯　：有線ポートが INTERNET ポートとして設定されている場合

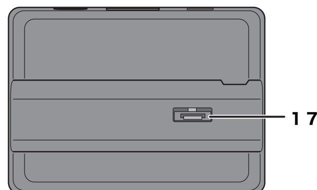
１５．LINK/ACT ランプ

点灯（緑）　：有線ポートリンク時
点滅（緑）　：有線ポート通信時

１６．POWER ランプ

点灯（緑）　：付属の AC アダプタ装着時

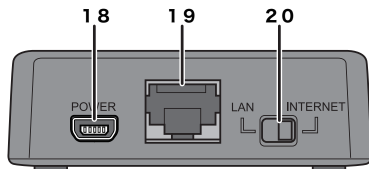
クレードル上部



１７．クレードルコネクタ

本体側のクレードルコネクタを接続します。

クレードル背面



１８．電源コネクタ

付属の AC アダプタを接続します。

１９．有線ポート

切り替えスイッチで切り替えることにより､LAN ポート､INTERNET ポートとして動作します。

２０．切り替えスイッチ

有線ポートをLANポートとして使用するかINTERNETポートとして使用するかを切り替えます。

MEMO

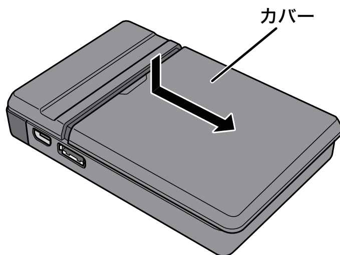
2 本商品の設置

FOMA カードの取り付けかた / 取り外しかた

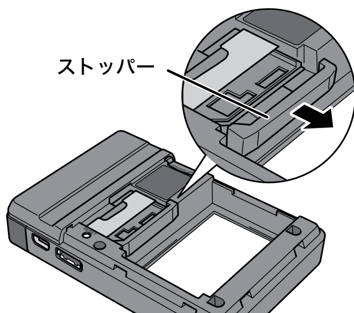
FOMA カードは以下の手順で取り付け / 取り外します。

⚠注意 FOMA カードの取り扱いは、FOMA カードに付属の取扱説明書を参照してください。

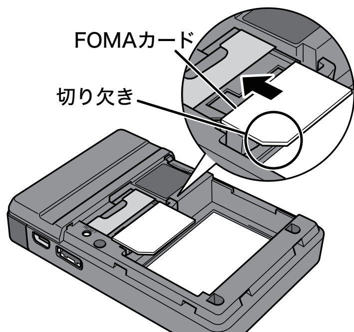
1 本商品背面のカバーを外します。



2　ストッパーを引き出します。

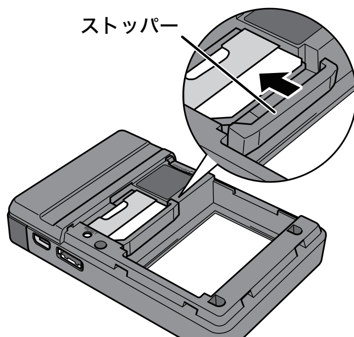


3　FOMA カードの端子面が下になるように挿入します。



メモ
- FOMA カードの切り欠きが下図位置になるように挿入してください。
- FOMA カードを取り外す場合は、ストッパーを引き出した後、FOMA カードをスライドさせて取り外してください。

4　ストッパーを元の位置に戻します。



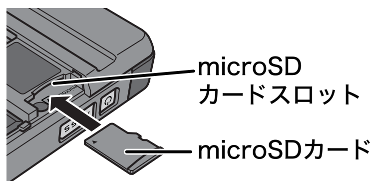
以上で FOMA カードの取り付けは完了です。
続いて、本商品に microSD カードを挿入します。microSD カードをお持ちでない場合は、「電池パックの取り付けかた / 取り外しかた」（P41）へ進んでください。

microSD カードの取り付けかた / 取り外しかた

microSD カードは以下の手順で取り付け / 取り外します。

メモ
- microSD カードはインターネット上からダウンロードしたコンテンツを保存したり、microSD カード内の画像などをインターネット上に公開するために使用します。それらの設定に関する詳細は、リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書 P113 をご覧ください。
- microSD カードをお持ちでない場合は、以下の手順を省略して、「電池パックの取り付けかた / 取り外しかた」（P41）へ進んでください。

1　microSD カードスロットに市販の microSD カードを挿入します。
端子面を下にして、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



メモ
- microSD カードを取り外すときは、いったん「カチッ」と音がするまで押し込んでから取り外してください。
- microSD カードの取り付け / 取り外しは、必ず本商品の電源を OFF にしてから行ってください。本商品の電源が ON の状態で取り付け / 取り外しを行うと、microSD カードや本商品が破損したり、microSD カード内のデータが破損する恐れがあります。

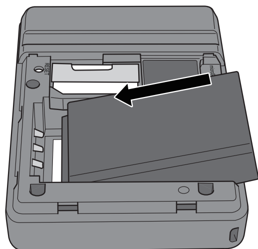
以上で microSD カードの取り付けは完了です。
続いて、電池パックを取り付けます。

電池パックの取り付けかた / 取り外しかた

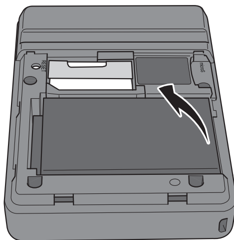
電池パックは以下の手順で取り付け / 取り外します。

メモ お買い上げ時の状態では、電池パックは充電されておりません。本商品をご使用になる前に、「充電のしかた」（P43）を参照して電池パックを充電してください。

1 電池パックの印字面を下にし、本商品の端子面と合わせるようにして、電池パックをセットします。



メモ 電池パックを取り外すときは、電池パックを下図の矢印方向に持ち上げて取り外します。



2　本商品背面のカバーを元通りに取り付けます。

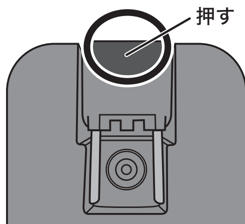
以上で電池パックの取り付けは完了です。
続いて、電池パックを充電します。

充電のしかた

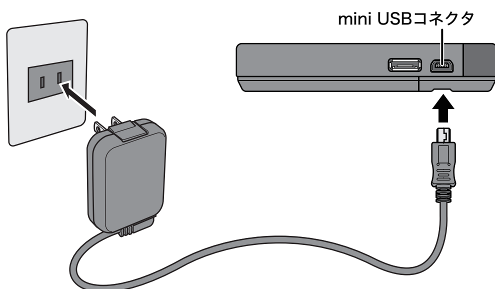
電池パックの充電には、付属の AC アダプタまたは USB ケーブルを使用します。

AC アダプタで充電する場合

1 付属の AC アダプタのプラグを出します。



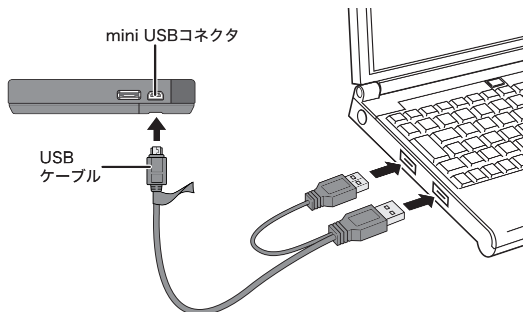
2 AC アダプタを本商品の mini USB コネクタとコンセントに接続します。接続すると、充電が始まります。



メモ 充電時間は約 240 分です。

USB ケーブルで充電する場合

付属の USB ケーブルを本商品の mini USB コネクタとパソコン（USB ポート 2 つ）に接続します。
接続すると、充電が始まります。

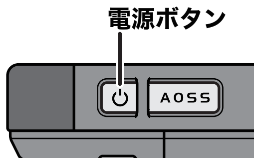


メモ

- 必ず付属のUSBケーブルを使用し､パソコン側のUSBポート２つに接続してください。１ポートだけでは正常に充電できず、思わぬ事故につながる可能性があります。
- 充電時間は約 240 分です。

電源の ON/OFF

電源の ON/OFF は、本商品の電源ボタンで行います。



本商品の電源が OFF の状態で電源ボタンを約３秒間押し続けると、電源が ON になります。

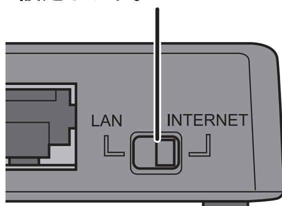
本商品の動作中に約３秒間電源ボタンを押し続けると、電源が OFF になります。

メモ 初期値では、本商品に無線機器が接続されていない状態が約１分間続くと、本商品が自動的にスタンバイ状態に移行します。スタンバイ状態ではインターネット接続などは動作しなくなりますが、本商品の電源ボタンを押すか、無線機器が本商品へ接続することによって通常状態へ復帰します。ただし、電源供給時や有線ポート接続時は、スタンバイ状態へ移行しません。

クレードルへの取り付けかた

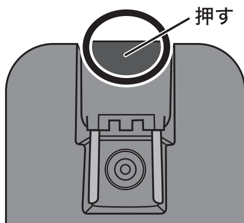
パソコンや他のネットワーク機器と本商品を LAN ケーブルでつなぐ場合は、付属のクレードルを使用します。クレードルへの取り付けは、以下の手順で行ってください。

1 クレードル背面の切り替えスイッチを LAN または INTERNET に設定します。

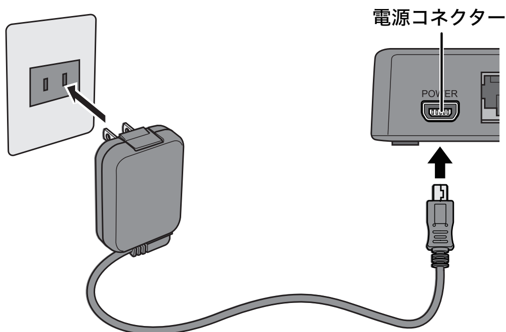


メモ　ご家庭にある LAN 端子やブロードバンドルータの LAN 端子、ホテルの部屋に設置されている LAN 端子などとクレードルを接続する場合は、スイッチを INTERNET に合わせてください。
パソコンや NAS とクレードルを接続する場合は、スイッチを LAN に合わせてください。

2 付属の AC アダプタのプラグを出します。

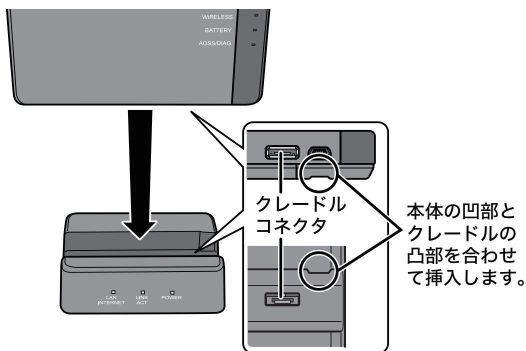


3 AC アダプタをクレードルとコンセントに接続します。



メモ AC アダプタの接続は必須ではありませんが、AC アダプタを接続しておくと本商品をクレードルに設置した際に、充電を行うことができます。ご家庭などの電源を確保できる場所で使用する場合は、AC アダプタを接続することをお勧めします。

4　下図のように本商品をクレードルに取り付けます。



メモ

- クレードルへの取り付けは、確実に行ってください。確実に取り付けられていないと、正常に動作しない場合があります。その場合は、クレードルから完全に取り外した後に、再度、確実にクレードルに取り付け直してください。
- クレードルに取り付けてご利用いただく際には、インターネットなどへの通信が可能となるまでに多少の時間がかかる場合があります。しばらくお待ちいただいてからご利用ください。
- AC アダプタを接続している場合は、本商品をクレードルに設置すると、自動的に充電が始まります。充電時間は約 240 分です。

以上でクレードルへの取り付けは完了です。

3 本商品との無線接続

本商品との無線接続手順について

本商品と各機器との無線接続手順については、以下の説明書を参照してください。

Windows パソコンとの無線接続

⇒ 本書の「付属ソフトウェアのインストール」(P50) 以降を参照してください。

iPad / iPod touch / ニンテンドー DS / PSP®「プレイステーション・ポータブル」との無線接続

⇒ 別紙のモバイル機器接続ガイドを参照してください。

Macintosh との無線接続

⇒ 本書の 「Macintosh の場合」(P64)を参照してください。

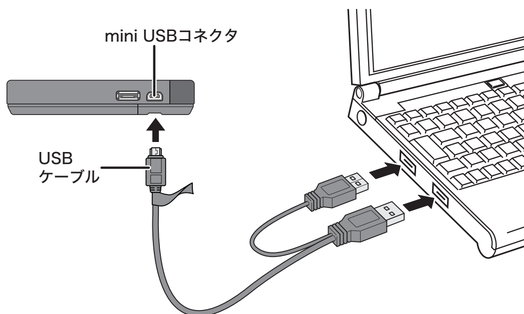
付属ソフトウェアのインストール

本商品本体には、本商品を使用するうえで便利なソフトウェアが収録されています。Windows パソコンと本商品を無線接続する前に、以下の手順でソフトをインストールしてください。

メモ
- **ソフトウェアは、Windows 7（32bit/64bit）/Vista（32bit/64bit）/XP に対応しています。**
- **インストールは、管理者権限のあるユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うと、正常にインストールできない場合があります。**
- **起動中のソフトがある場合は、ソフトを終了してからインストールを行ってください。また、ウイルス対策ソフトなどのセキュリティーソフトがインストールされている場合は、必ずセキュリティーソフトを終了してからインストールを行ってください。**
- **他社製無線接続ソフトがインストールされている場合は、事前に削除してください。**

1　本商品の電源を ON にします。

2　付属の USB ケーブルを本商品とパソコンに接続します。



メモ
- 初めて本商品とパソコンを USB ケーブルで接続したときは、ドライバーのインストールメッセージが表示されることがあります。ドライバーのインストールは自動的に完了します。
- 本商品の設定画面の［管理設定］－［本体］の「USB ストレージ機能」を初期値（マニュアル・ユーティリティーインストーラー）から変更している場合は、ソフトウェアはインストールできません。

3 ［スタート］－［(マイ）コンピューター］を選択します。

4 ［BF-01B 専用ランチャー］をダブルクリックします。


BF-01B 専用 ランチャー (H:)

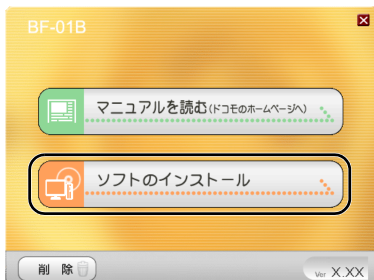
5 ［Launcher.exe］をダブルクリックします。



Launcher.exe
BF-01B Launcher

メモ
Windows 7/Vista をお使いの場合、「自動再生」画面が表示されることがあります。その場合は、「BF-01B 専用ランチャーを開く」をクリックしてください。また、インストール中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］または［続行］をクリックしてください。

6　［ソフトのインストール］をクリックします。



7　「クライアントマネージャ」および「エアステーション設定ツール」の［インストール開始］をクリックします。



メモ　以降の説明では、「クライアントマネージャ」および「エアステーション設定ツール」を使用しますので、両方ともインストールしてください。

8　以降は画面の指示に従ってインストールを行います。

以上でソフトウェアのインストールは完了です。

パソコンとの無線接続

ここでは例として、AOSS/WPS（プッシュボタン式）を使って、本商品と Windows パソコンを無線接続する手順、および手動設定で Macintosh を無線接続する手順説明します。設定方法は OS によって異なります。

メモ　その他の接続方法については、リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書 P113 をご覧ください。

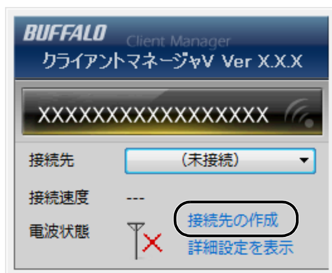
Windows 7/Vista の場合

Windows 7/Vista パソコンで AOSS/WPS（プッシュボタン式）を使って本商品に接続する場合は、以下の手順に従ってください。

メモ　AOSS/WPS（プッシュボタン式）設定は、パソコンと本商品を 1 対 1 で設定するため、設定中に別の機器を AOSS/WPS（プッシュボタン式）接続することはできません。本商品 1 台に対して複数の機器を接続するときは、AOSS/WPS（プッシュボタン式）接続が完了してから別の機器を接続してください。

1　［スタート］－［(すべての) プログラム］－［BUFFALO］－［エアステーションユーティリティ］－［クライアントマネージャ V］を選択します。

2　以下の画面が表示されたら、「接続先の作成」をクリックします。



3　「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] または [続行] をクリックします。



4　画面に表示されている自動セキュリティー設定ボタン  をクリックします。



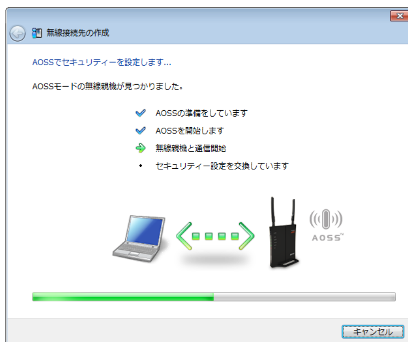
5　以下の画面が表示されたら、本商品の AOSS ボタンを AOSS/DIAG ランプが 2 回青色点滅するまで押し続けます。ランプが点滅したら、ボタンから手を放します。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。本商品と AOSS ボタンの位置が異なりますので、あらかじめ位置をご確認ください。

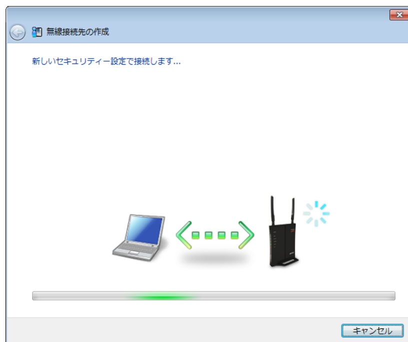


6　自動的に本商品が検出され、接続されます。



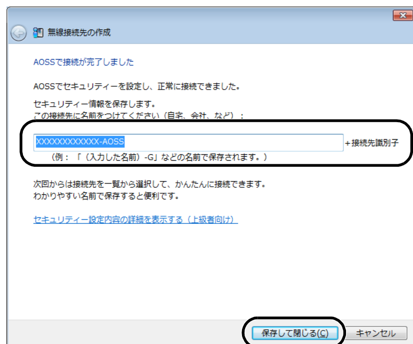
※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

7 接続が完了するまで待ちます。



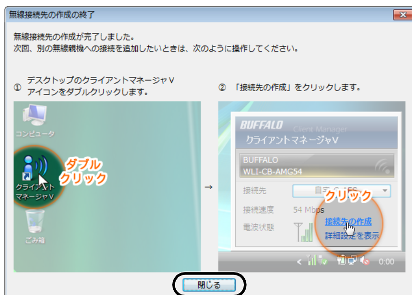
※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

8 「AOSS で接続が完了しました」または「WPS プッシュボタン式で接続が完了しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、[保存して閉じる] をクリックします。



メモ 接続先名は、任意の名称を設定することができます。

9 「無線接続先の作成が完了しました」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。

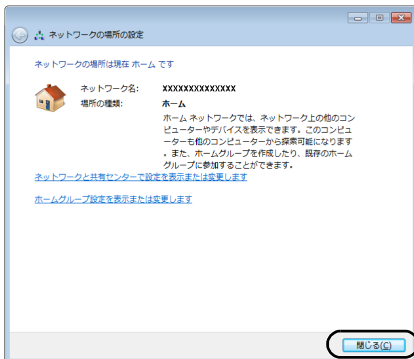


10 「ネットワークの場所の設定」という画面が表示された場合は、ご利用の環境にあった場所をクリックしてください。
（ここでは例として、「ホームネットワーク」をクリックします）



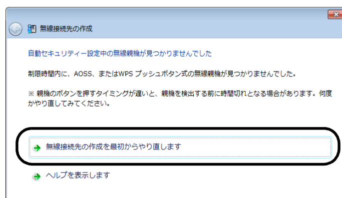
11 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］または［続行］をクリックします。

12 以下の画面が表示されたら、［閉じる］をクリックします。



以上で本商品との接続は完了です。

メモ　本商品との接続に失敗した場合、本商品の AOSS/DIAG ランプが青色に連続点滅して、以下のような画面が表示されます。この場合、「無線接続先の作成を最初からやり直します」をクリックして、手順４（P55）以降の操作を行ってください。



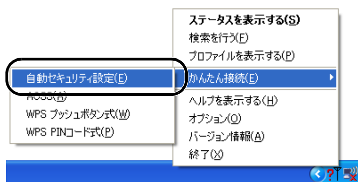
※ 画面は一例です。

Windows XP の場合

Windows XP パソコンで AOSS/WPS（プッシュボタン式）を使って本商品に接続する場合は、以下の手順に従ってください。

メモ AOSS/WPS（プッシュボタン式）設定は、パソコンと本商品を 1 対 1 で設定するため、設定中に別の機器を AOSS/WPS（プッシュボタン式）接続することはできません。本商品 1 台に対して複数の機器を接続するときは、AOSS/WPS（プッシュボタン式）接続が完了してから別の機器を接続してください。

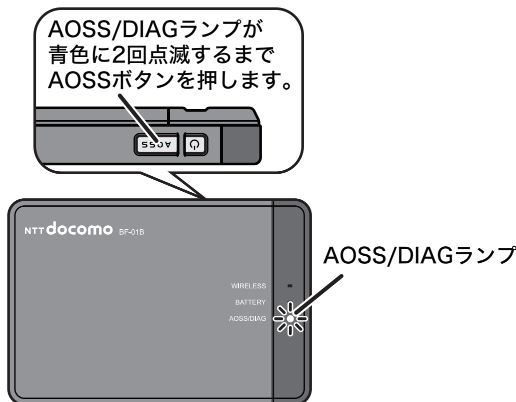
1 タスクトレイの アイコンを右クリックし、「かんたん接続」－「自動セキュリティ設定」をクリックします。



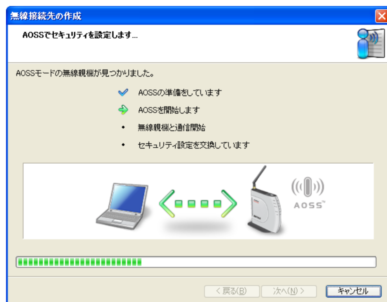
2 以下の画面が表示されたら、本商品の AOSS ボタンを AOSS/DIAG ランプが 2 回青色点滅するまで押し続けます。ランプが点滅したら、ボタンから手を放します。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。本商品と AOSS ボタンの位置が異なりますので、あらかじめ位置をご確認ください。



3 自動的に本商品が検出され、接続されます。



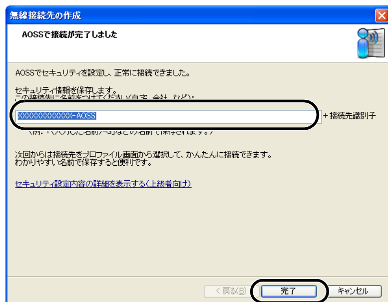
※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

4 接続が完了するまで待ちます。



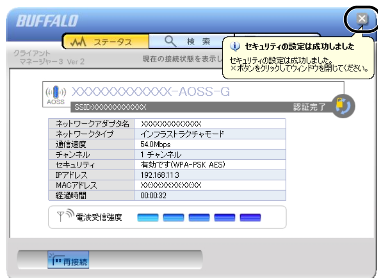
※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

5 「AOSS で接続が完了しました」または「WPS プッシュボタン式で接続が完了しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、［完了］をクリックします。



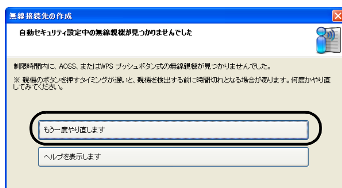
メモ　接続先名は、任意の名称を設定することができます。

6 「セキュリティの設定は成功しました」と表示されたら、［×］をクリックして画面を閉じます。



以上で本商品との接続は完了です。

メモ　本商品との接続に失敗した場合、本商品の AOSS/DIAG ランプが青色に連続点滅して、以下のような画面が表示されます。この場合、「もう一度やり直します」をクリックして、手順2（P61）以降の操作を行ってください。



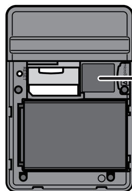
※ 画面は一例です。

Macintosh の場合

Macintosh で本商品に接続する場合は、以下の手順に従ってください。

注意　以下の手順で接続できない場合は、SSID や暗号化キーがお買い上げ時の状態から変更されている可能性があります。その場合は、「ラベルに記載の値で無線接続できないときは」（P101）を参照してください。

1　本商品の電源をOFFにした後、裏ぶたを取り外し、本商品のSSID（12 桁の値）と暗号化キー（13 桁の値）を確認します。



お買い上げ時のSSID（12桁の値）と暗号化キー（13桁の値）は、このラベルに記載されています。

2　裏ぶたを取り付けて、本商品の電源を ON にします。

3 Macintosh 画面上部の AirMac アイコンをクリックし、「AirMac を入にする」を選択します。
選択すると、周囲の無線ネットワークが自動的に検出されます。

4 手順１で確認した SSID と同じ値をリストから選択します。

メモ SSID がリスト表示されない場合は、再度検索を行ってください。それでも本商品の SSID が表示されない場合は、Macintosh を本商品に近づけてください。また、本商品に ANY 接続拒否設定を行っている場合は、解除してください。

5 パスワードの入力画面が表示されたら、手順１で確認した暗号化キーを入力し、「このネットワークを記憶」にチェックマークを付けて、［OK］をクリックします。

6 手順４で選択した SSID の横にチェックマークが付いたら、無線接続は完了です。

以上で本商品との接続は完了です。

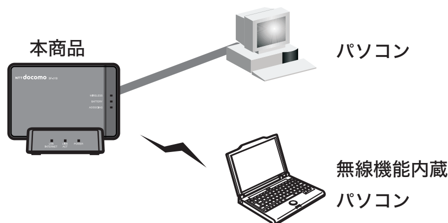
MEMO

4 インターネット接続設定

設定画面を表示する

本商品の設定画面は、以下の手順で表示することができます。

＜接続構成例＞



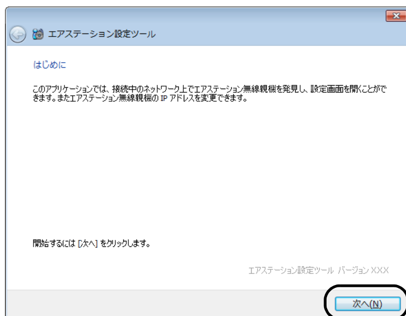
Windows パソコンで設定画面を表示する

メモ
- 以下の手順を行う前にエアステーション設定ツールがインストールされている必要があります。エアステーション設定ツールのインストール方法は、「付属ソフトウェアのインストール」（P50）を参照してください。
- エアステーション設定ツールは、Windows 7/Vista/XP に対応しています。

1 本商品と設定用パソコンを無線または有線で接続します。

2 [スタート] − [(すべての) プログラム] − [BUFFALO] − [エアステーションユーティリティ] − [エアステーション設定ツール] を選択して、エアステーション設定ツールを起動します。

3 以下の画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。



メモ　パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから [再実行] をクリックしてください。

4 以下の画面が表示されたら、本商品を選択して、[次へ] をクリックします。



メモ　本商品の SSID は、「初期値ラベル」(P33) をご確認ください。

5 [設定画面を開く] をクリックします。



メモ

- 本商品とパソコンの IP セグメントが異なる場合は、以下の画面が表示されます。その場合は、［このパソコンの IP アドレスを設定する］→［推奨設定（DHCP サーバーから IP アドレスを自動取得する）］の順にクリックしてください。しばらくすると、パソコンに新しい IP アドレスが設定され、手順５の画面が表示されます。



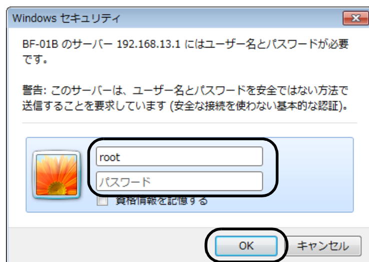
※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。
本商品には ROUTER ランプはありません。

- 「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示された場合は、［完了］をクリックしてください。

6　画面右上の「ログイン」をクリックします。



7 ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザー名に「root」(小文字)、パスワードに本商品に設定したパスワードを入力して［OK］をクリックします。



メモ
・本商品は、お買い上げ時はパスワードが設定されていません。
・設定したパスワードを忘れてしまった場合は、リセットスイッチ（P33）を押して、設定を初期化してください。その際、パスワード以外の値も初期値に戻りますのでご注意ください。

8　設定画面が表示されます。



設定画面が表示されたら、インターネット接続設定を行います。接続設定は、ご利用のサービスによって異なります。それぞれ以下のページを参照して設定を行ってください。

- NTT ドコモの 3G（FOMA）回線に接続する場合（P76）
- NTT ドコモの Mzone や mopera U に接続する場合（P79）
- NTT 東日本または NTT 西日本のフレッツ・スポットに接続する場合（P82）
- NTT コミュニケーションズのホットスポットに接続する場合（P85）
- FREESOPT 協議会のフリースポットに接続する場合（P88）
- ご家庭に設置済みの親機に無線接続する場合（P90）
- ホテルやご家庭のネットワークに有線接続する場合（P93）

Macintosh やゲーム機で設定画面を表示する

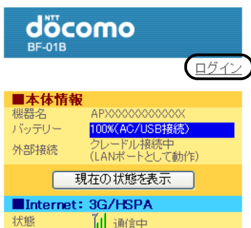
メモ Macintosh やゲーム機から本商品の設定画面を表示する場合は、本商品の LAN 側 IP アドレスの値（初期値では 192.168.13.1）が必要です。

1 本商品と設定用機器を無線または有線で接続します。

2 設定用機器からブラウザを起動し、アドレス欄に本商品のLAN側IP アドレスを入力して、本商品の設定画面にアクセスします。

メモ 本商品の LAN 側 IP アドレスの初期値は「192.168.13.1」です。LAN 側 IP アドレスを任意の値に変更した場合は、変更後の値を入力してください。

3 画面右上の「ログイン」をクリックします。



4　ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されたら、名前に「root」（小文字）、パスワードに本商品に設定したパスワードを入力して［ログイン］をクリックします。

メモ
- 本商品は、お買い上げ時はパスワードが設定されていません。
- 設定したパスワードを忘れてしまった場合は、リセットスイッチ（P33）を押して、設定を初期化してください。その際、パスワード以外の値も初期値に戻りますのでご注意ください。

5　設定画面が表示されます。



設定画面が表示されたら、インターネット接続設定を行います。接続設定は、ご利用のサービスによって異なります。それぞれ以下のページを参照して設定を行ってください。

・NTT ドコモの 3G（FOMA）回線に接続する場合（P76）
・NTT ドコモの Mzone や mopera U に接続する場合（P79）
・NTT 東日本または NTT 西日本のフレッツ・スポットに接続する場合（P82）
・NTT コミュニケーションズのホットスポットに接続する場合（P85）
・FREESOPT 協議会のフリースポットに接続する場合（P88）
・ご家庭に設置済みの親機に無線接続する場合（P90）
・ホテルやご家庭のネットワークに有線接続する場合（P93）

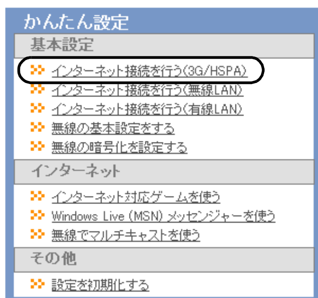
3G（FOMA）回線に接続する

NTT ドコモの 3G（FOMA）回線への接続設定は、以下の手順で行います。

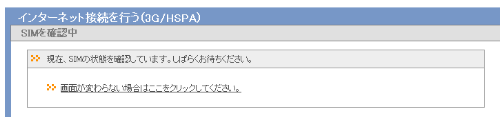
メモ　本商品はお買い上げ時に mopera U の定額のアクセスポイントに接続するように設定されています。mopera U の「U 定額 HIGH-SPEED プラン」をご利用の場合で、インターネット接続に 3G（FOMA）回線を使用する場合は、以下の設定は不要です。

1　「設定画面を表示する」(P67) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

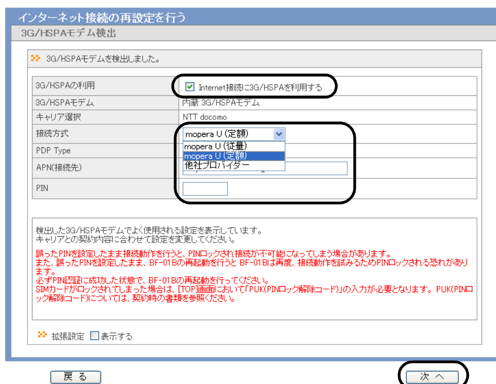
2　設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う（3G/HSPA)」をクリックします。



3 以下の画面が表示されたら、画面が切り替わるまでしばらく待ちます。



4 「Internet 接続に 3G/HSPA を利用する」にチェックマークがついていることを確認し、接続方式、APN（接続先）、ユーザー名、パスワード、PIN を必要に応じて設定して、［次へ］をクリックします。



メモ

- 上記の設定は、当社またはプロバイダから指定された内容を設定してください。
- PIN コードの設定をしている FOMA カードをお使いの場合、PIN コードの入力が必要です。

5　設定内容を確認し、［設定完了］をクリックします。

インターネット接続を行う(3G/HSPA)

3G/HSPA接続テスト

3G/HSPA接続テストを行います

3G/HSPAモデム	内蔵 3G/HSPAモデム
キャリア選択	NTT docomo
接続方式	mopera U (定額)
PDP Type	IP
APN(接続先)	mopera.flat.foma.ne.jp
PIN	

注意事項

3G/HSPAモデムの契約が定額制以外の場合は、通信パケット量や通信時間に応じて非常に高額な金額が発生します。また定額制契約においても、接続先によっては定額対象外として金額が発生します。

- 3G/HSPAモデムの契約が、必ず定額制のみの契約である事を確認の上ご利用ください。
- 3G/HSPAモデムの契約内容の確認と本機器への設定内容の確認を必ず行ってください。

定額制以外の契約でご利用の際、高額な通信使用料を請求されたとしても、弊社としては一切の責任を負いかねます。細心の注意を払ってご利用ください。

戻る　設定完了　接続テストを行う

メモ　本設定を 3G（FOMA）回線のエリア内で行っている場合は、上記の画面で［接続テストを行う］をクリックすると、接続テストを行うことができます。
接続テストに失敗した場合は、［再試行］をクリックして、改めて接続テストを行ってください。再度接続テストに失敗した場合は、［設定完了］をクリックし、当社またはプロバイダから指定された内容をご確認のうえ、手順２以降を行ってください。

以上で設定は完了です。

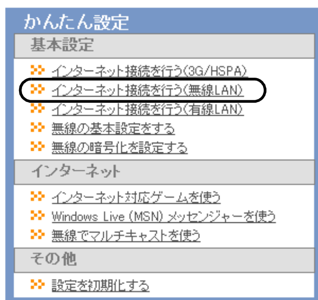
Mzone や mopera U に接続する

NTT ドコモの Mzone や mopera U への接続設定は、以下の手順で行います。

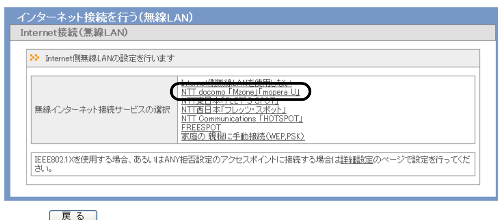
メモ　mopera U で公衆無線 LAN サービスをご利用いただく場合は、U「公衆無線 LAN」コースへの申し込みが必要です。サービスの概要や料金については、当社のホームページ（http://www.mopera.net/service/course/wlan/index.html）を参照してください。

1　「設定画面を表示する」（P67）を参照して、本商品の設定画面を表示します。

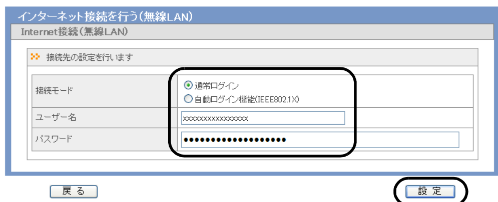
2　設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う（無線 LAN）」をクリックします。



3　NTT docomo「Mzone」「mopera U」をクリックします。



4　ご契約の接続モード、ユーザー名、パスワード設定などを行い、［設定］をクリックします。



メモ　上記の設定は、Mzone または mopera U ご契約時に指定された内容を設定してください。

5 設定内容を確認し、［設定完了］をクリックします。

インターネット接続を行う(無線LAN)
Internet接続(無線LAN)

接続先のテストをします

インターネット接続サービス	NTT docomo「Mzone」「mopera U」
接続モード	通常ログイン
ユーザー名	xxxxxxxxxxxxxxxxx
パスワード	********

注意事項
公衆無線LANサービスの契約が定額制以外の場合は、通信パケット量や通信時間に応じて非常に高額な金額が発生します。
また定額制契約においても、接続先によっては定額対象外として金額が発生します。
- 公衆無線LANサービスのプラン・コースの契約が、必ず定額制のみの契約である事を確認の上ご利用ください。
- 公衆無線LANサービスのプラン・コースの契約内容の確認と本機器への設定内容の確認を必ず行ってください。

定額制以外の契約でご利用の際、高額な通信使用料を請求されたとしても、弊社としては一切の責任を負いかねます。細心の注意を払ってご利用ください。

戻る　設定完了　接続テストを行う

メモ　本設定を Mzone または mopera U のサービスエリア内で行っている場合は、上記の画面で［接続テストを行う］をクリックすると、接続テストを行うことができます。
接続テストに失敗した場合は、［再試行］をクリックして、改めて接続テストを行ってください。再度、接続テストに失敗した場合は、［設定完了］をクリックし、「Mzone」「mopera U」のご契約時に指定された内容をご確認のうえ、手順２以降を行ってください

以上で設定は完了です。

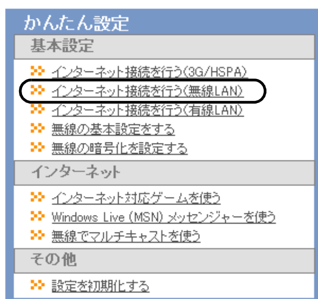
フレッツ・スポットに接続する

NTT 東日本または NTT 西日本のフレッツ・スポットへの接続設定は、以下の手順で行います。

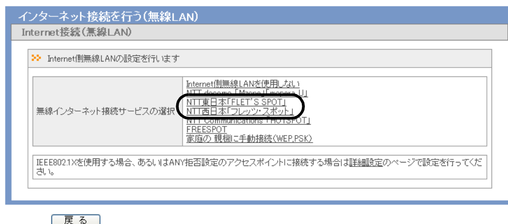
メモ　フレッツ・スポットをご契約の際、フレッツ・スポットに接続する機器の MAC アドレスを申請する必要があります。申請に必要な MAC アドレスは、本商品の初期値ラベル（P33）に記載の MAC となります。

1　「設定画面を表示する」（P67）を参照して、本商品の設定画面を表示します。

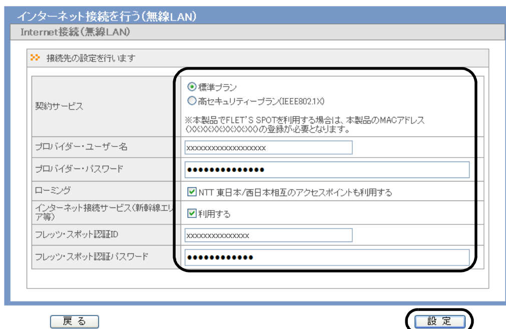
2　設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う（無線 LAN）」をクリックします。



3 NTT 東日本「FLET'S SPOT」または NTT 西日本「フレッツ・スポット」をクリックします。



4 ご契約サービスの種類、プロバイダー・ユーザー名、プロバイダー・パスワード、ローミング設定、インターネット接続サービス（新幹線エリア等）を「利用する」に設定し、フレッツ・スポット認証 ID およびフレッツ・スポット認証パスワードを入力します。設定内容の入力が完了したら［設定］をクリックします。



メモ
- 上記の設定は、フレッツ・スポットご契約時に指定された内容を設定してください。
- 上記の手順３にて「NTT 西日本「フレッツ・スポット」」を選択した際に、「インターネット接続サービス（新幹線エリア等）」のチェックボックスが表示されますが、2010 年 7 月現在はご利用になれません。

5　設定内容を確認し、［設定完了］をクリックします。

インターネット接続を行う(無線LAN)

Internet接続(無線LAN)

接続先のテストをします

インターネット接続サービス	NTT東日本「FLET'S SPOT」
契約サービス	標準プラン
プロバイダー・ユーザー名	xxxxxxxxxxxxxxxxxxx
プロバイダー・パスワード	********
ローミング	NTT 東日本/西日本相互のアクセスポイントも利用する
インターネット接続サービス（新幹線エリア等）	利用する
フレッツ・スポット認証ID	xxxxxxxxxxxxxxxx
フレッツ・スポット認証パスワード	********

注意事項

公衆無線LANサービスの契約が定額制以外の場合は、通信パケット量や通信時間に応じて非常に高額な金額が発生します。
また定額制契約においても、接続先によっては定額対象外として金額が発生します。

- 公衆無線LANサービスのプラン・コースの契約が、必ず定額制のみの契約である事を確認の上ご利用ください。
- 公衆無線LANサービスのプラン・コースの契約内容の確認と本機器への設定内容の確認を必ず行ってください。

定額制以外の契約でご利用の際、高額な通信使用料を請求されたとしても、弊社としては一切の責任を負いかねます。細心の注意を払ってご利用ください。

［戻る］　［設定完了］　［接続テストを行う］

メモ　本設定をフレッツ・スポットのサービスエリア内で行っている場合は、上記の画面で［接続テストを行う］をクリックすると、接続テストを行うことができます。
接続テストに失敗した場合は、［再試行］をクリックして、改めて接続テストを行ってください。再度、接続テストに失敗した場合は、［設定完了］をクリックし、フレッツ・スポットのご契約時に指定された内容をご確認のうえ、手順２以降を行ってください。

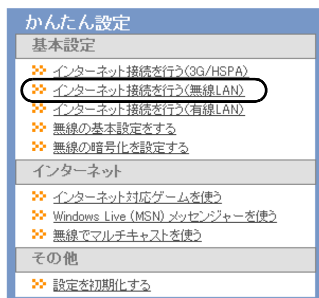
以上で設定は完了です。

ホットスポットに接続する

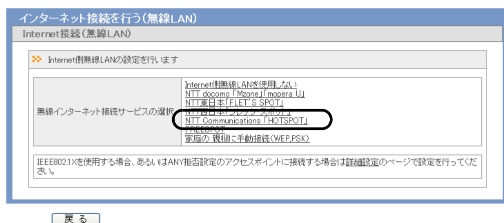
NTT コミュニケーションズのホットスポットへの接続設定は、以下の手順で行います。

1 「設定画面を表示する」（P67）を参照して、本商品の設定画面を表示します。

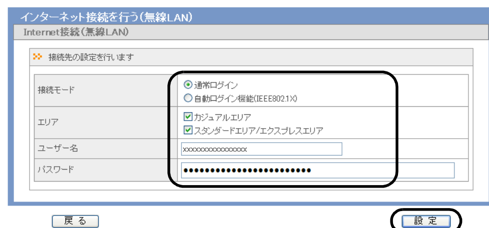
2 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う（無線LAN）」をクリックします。



3 NTT Communications「HOTSPOT」をクリックします。



4 ご契約の接続モード、エリア、ユーザー名、パスワード設定を行い、［設定］をクリックします。



メモ　上記の設定は、ホットスポットご契約時に指定された内容を設定してください。

5 設定内容を確認し、［設定完了］をクリックします。

インターネット接続を行う（無線LAN）

Internet接続（無線LAN）

接続先のテストをします

インターネット接続サービス	NTT Communications「HOTSPOT」
接続モード	通常ログイン
エリア	カジュアルエリア，スタンダードエリア/エクスプレスエリア
ユーザー名	xxxxxxxxxxxxxxxxx
パスワード	********

注意事項

公衆無線LANサービスの契約が定額制以外の場合は、通信パケット量や通信時間に応じて非常に高額な金額が発生します。
また定額制契約においても、接続先によっては定額対象外として金額が発生します。

- 公衆無線LANサービスのプラン・コースの契約が、必ず定額制のみの契約である事を確認の上ご利用ください。
- 公衆無線LANサービスのプラン・コースの契約内容の確認と本機器への設定内容の確認を必ず行ってください。

定額制以外の契約でご利用の際、高額な通信使用料を請求されたとしても、弊社としては一切の責任を負いかねます。細心の注意を払ってご利用ください。

［戻る］　［設定完了］　［接続テストを行う］

メモ　本設定をホットスポットのサービスエリア内で行っている場合は、上記の画面で［接続テストを行う］をクリックすると、接続テストを行うことができます。
接続テストに失敗した場合は、［再試行］をクリックして、改めて接続テストを行ってください。再度、接続テストに失敗した場合は、［設定完了］をクリックし、ホットスポットのご契約時に指定された内容をご確認のうえ、手順2以降を行ってください。

以上で設定は完了です。

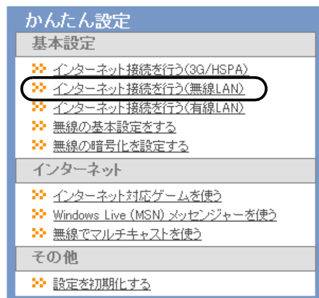
フリースポットに接続する

FREESOPT 協議会のフリースポットへの接続設定は、以下の手順で行います。

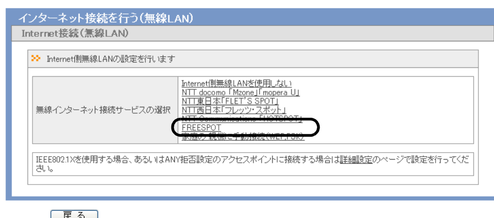
メモ
- 本商品をフリースポットでご利用になる際、利用者のメールアドレスと本商品の MAC アドレスの事前登録が必要な場合があります。事前登録に必要な MAC アドレスは、本商品の初期値ラベル（P33）に記載の MAC となります。
- 事前登録についての詳細は、ホームページ（http://www.freespot.com/users/jizentouroku/）を参照してください。

1 「設定画面を表示する」（P67）を参照して、本商品の設定画面を表示します。

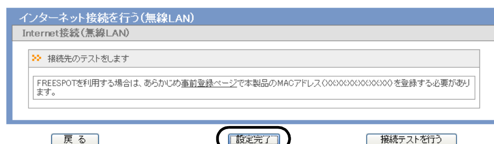
2 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う（無線LAN）」をクリックします。



3 FREESPOT をクリックします。



4 [設定完了] をクリックします。



メモ 本設定をフリースポットのサービスエリア内で行っている場合は、上記の画面で［接続テストを行う］をクリックすると、接続テストを行うことができます。
接続テストに失敗した場合は、[再試行] をクリックして、改めて接続テストを行ってください。再度、接続テストに失敗した場合は、[設定完了] をクリックし、本商品の事前登録を行っているかをご確認のうえ、手順２以降を行ってください。

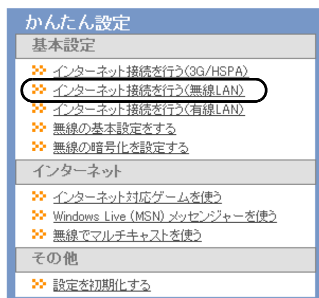
以上で設定は完了です。

ご家庭に設置済みの親機に無線接続する

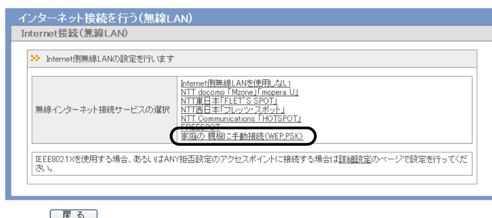
ご家庭に設置済みの親機への無線接続設定は、以下の手順で行います。

1 「設定画面を表示する」(P67) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

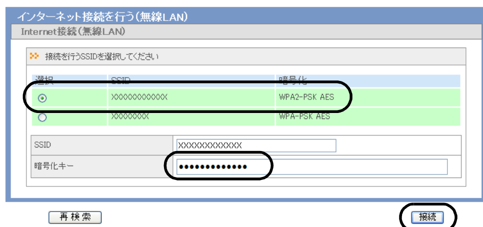
2 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う（無線LAN)」をクリックします。



3 家庭の親機に手動接続（WEP、PSK）をクリックします。



4 検索された無線親機を選択し、無線親機に設定されている暗号化キーを入力して［接続］をクリックします。



メモ 接続先の無線親機の SSID が表示されない場合は、［再検索］をクリックしてください。

5　「接続成功です」と表示されたら、[設定完了] をクリックします。



メモ　「接続成功です」と表示されない場合は、上記の手順４で設定した内容が正しいかを再度ご確認ください。

以上で設定は完了です。

ホテルやご家庭で使用する（有線接続）

ホテルやご家庭のネットワークに有線接続する場合は、以下の手順で設定を行います。

1 「クレードルへの取り付けかた」（P46）を参照して、クレードルを設置し、本商品をクレードルに差し込みます。

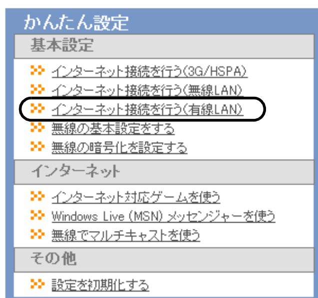
メモ クレードル背面の切り替えスイッチは、「INTERNET」に設定してください。

2 クレードル背面の有線ポートとホテルの客室に設置されているLAN ポート（またはご家庭に設置されているブロードバンドルータの LAN ポート）を LAN ケーブルで接続します。

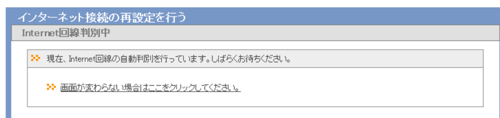
3 「パソコンとの無線接続」（P53）を参照して、パソコンを本商品に無線接続します。

4 「設定画面を表示する」（P67）を参照して、本商品の設定画面を表示します。

5　設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う（有線LAN）」をクリックします。



6　以下の画面が表示されたら、画面が切り替わるまでしばらく待ちます。



7 画面 A が表示された場合は、「DHCP サーバーから IP アドレスを自動取得する」をクリックします。
画面 B が表示された場合は、ホテルの客室の資料やプロバイダの資料（プロバイダ登録通知書など）にしたがって、各項目を入力し、［進む］をクリックします。

画面 A

インターネット接続の再設定を行う
DHCPサーバー発見

インターネット接続可能なDHCPサーバーが見つかりました。

DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得する(通常はこちらを選択して下さい)
もう一度、確認する

戻る

画面 B

インターネット接続の再設定を行う
回線およびプロバイダー情報の設定(フレッツ)

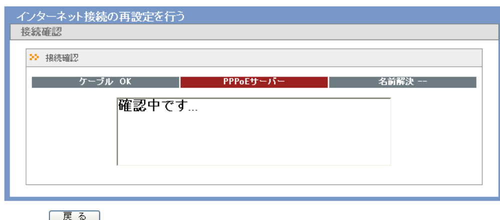
フレッツ回線の接続設定を入力してください。

回線の設定	Bフレッツ/フレッツ・ADSL フレッツ 光ネクスト
接続先ユーザー名	xxxxxxxxxx @ xxx.xxx.xxx.xxx
接続先パスワード	← パスワード確認欄（確認のため同じパスワードを入力）
DNS(ネーム)サーバーアドレス ※プロバイダーより指定がある場合のみ	プライマリー: セカンダリー:
フレッツ・スクウェア接続 ※フレッツ回線をお使いの場合のみ	使用しない
IPマルチキャスト/IP電話サービス ※フレッツIPv6サービスをお使いの場合のみ	利用する (現在の設定：利用しない) ※IPv6に対応していない回線でこの機能を使用すると、セキュリティーを損なう危険性があります。必要のない場合は「利用しない」をご選択下さい。

電力系光通信(イオ、ビビック、コミュファなど)のPPPoE接続設定を行う場合は「こちら」をクリックしてください。
※もう一度、確認したい場合は「こちら」をクリックしてください。

戻る　進む

8　本商品が接続設定を確認しますので、画面が切り替わるまでしばらく待ちます。



9　「接続成功です」という画面が表示されたら、[閉じる]をクリックします。



メモ　「接続成功です」と表示されない場合は、画面の指示にしたがってください。

以上で設定は完了です。

5 困ったときは

無線接続で困ったとき

現象	対処方法
ゲーム機を本商品に無線接続したら、他の機器が無線接続できない	「ラベルに記載の値で無線接続できないときは」（P101）を参照してください。
無線機器と本商品を接続できない	• 本商品の電源を入れ直してください。 • 電池パックを充電するか、付属の AC アダプタを接続してください。 • パソコンおよび携帯用ゲーム機の場合は、本商品を近づけてから、接続を行ってください。 iPad や iPod touch の場合は、本商品の設定画面にて現在の SSID と暗号化キーを確認し、その SSID と暗号化キーを使って無線接続してください。なお、お買い上げ時の SSID と暗号化キーの設定は、本商品の初期値ラベル（P33）で確認することができます。 • セキュリティーソフトがインストールされている場合は、一時的にファイアウォール機能を停止してください。設定については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。 • 本書 P113 の手順でリファレンスガイドを参照して、無線チャンネルを変更してください。 • 無線 LAN 機能を搭載したパソコンをお使いの場合は、パソコン本体の無線 LAN が有効になっているか確認してください。 • USBやPCカード型の無線子機をお使いの場合は、一度無線子機のドライバを削除し、最新版のドライバをインストールしてください。

現象	対処方法
AOSS 接続後に「IP アドレスの競合が検出されました」と表示される	AOSS 接続後に「IP アドレスの競合が検出されました」と表示される場合は、パソコンを再起動してください。
AOSS を使用せずに無線機器と本商品を無線接続したい	AOSS を使用せずに無線機器と本商品を無線接続する手順は、リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書 P113 をご覧ください。
電波の状態が悪い / 通信が途切れる / 通信速度が遅い	• 本商品と無線機器との間に障害物がある場合は、障害物を移動させるか、本商品の使用場所を変更してください。 • 周りに本商品と同じ周波数帯を使用する機器（コードレス電話や電子レンジなど）がある場合、混信し、通信が途切れることがあります。その場合は、本商品の無線チャンネル設定を変更してください。チャンネルの変更方法については、リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書 P113 をご覧ください。
本商品に設定されている SSID や暗号化キーが分からなくなった	本商品に設定されている SSID や暗号化キーは、本商品の設定画面から確認できます。リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書 P113 をご覧ください。 なお、お買い上げ時の SSID や暗号化の設定は以下のようになっています。 SSID　本商品の初期値ラベル（P33）に記載の値 暗号化の種類　WPA/WPA2 mixedmode - PSK TKIP/AES mixedmode 暗号化キー　本商品の初期値ラベル（P33）に記載の値

本商品の設定画面が表示できなくて困ったとき

現象	対処方法
本商品の設定画面にログインできない	• 設定を行う機器が本商品と接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、無線または LAN ケーブルで接続してください。 • 設定画面にログインするためのユーザー名やパスワードが正しいか確認してください。初期値でお使いの場合、ユーザー名は「root」、パスワードは未設定です。パスワードを忘れてしまった場合は、本商品のリセットスイッチ（RESET）(P33) を AOSS/DIAG ランプが赤色に点滅するまで（約３秒間）押して設定を初期化してください。（初期化すると、パスワード以外の設定も初期値に戻ります） • 「設定画面を表示する」（P67）を参照して、本商品の設定画面を表示してください。 • Internet Explorer などのブラウザがプロキシを使用しない設定になっているか確認してください。 • 設定を行う機器の IP アドレスが正しく設定されているかを確認してください。
本商品の設定画面にログインできない（AOSS/DIAG ランプが赤く点滅している）	本商品に異常が発生しています。AOSS/DIAG ランプの点滅回数と内容については、本書の P31 を参照してください。 なお、AOSS/DIAG ランプは、本商品の電源を ON にしたときや、ファームウェア更新時にも赤く点滅しますが、異常ではありません。

その他で困ったとき

現象	対処方法
本商品に FOMA カード以外の SIM カードを挿したが 3G 回線に接続できない	本商品に対応している SIM カードは、NTT ドコモの FOMA カードのみです。他社製 SIM カードを挿しても他社の 3G 回線には接続できません。

ラベルに記載の値で無線接続できないときは

ゲーム機などを本商品に無線接続した後で、パソコンなどの他の機器を手動接続しようとすると、初期値ラベルに記載の SSID や暗号化キーで接続できないことがあります。これは、ゲーム機と本商品を AOSS 接続した際に、SSID や暗号化キーがお買い上げ時の状態から変更されたためです。この場合、いったん本商品の設定画面で現在の設定を確認し、その設定を使って接続する必要があります。
以下の手順で設定を行ってください。

1 「設定画面を表示する」(P67) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 AOSS アイコンが青く表示されている場合は、AOSS アイコンをクリックします。

AOSS アイコンが黒く表示されている場合は、WPS アイコンをクリックします。





以降の手順は、クリックしたアイコンによって異なります。

AOSS アイコンをクリックした場合

1　「現在のセキュリティー情報」の項目で、(現在使用中)と表示されている部分の SSID と暗号化の種類、暗号化キーを確認します。

現在のセキュリティー情報802.11g

暗号化レベル	WPA-PSK-AES
SSID	XXXXXXXXXXXX-1
暗号化キー	xxxxxxxxxxxxxx

暗号化レベル	WPA-PSK-TKIP
SSID	XXXXXXXXXXXX
暗号化キー	xxxxxxxxxxxxxx

暗号化レベル	WEP128 (現在使用中)
SSID	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
暗号化キー	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx (送信キー)
	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

暗号化レベル	WEP64
SSID	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
暗号化キー	xxxxxxxxxx (送信キー)
	xxxxxxxxxx
	xxxxxxxxxx
	xxxxxxxxxx

ランダム　KEYベース　リセット

設定

メモ　「WEP128」「WEP64」が現在使用中の場合は、暗号化キーの 1 行目を確認してください。

2 上記で確認した SSID と暗号化の種類、暗号化キーを使って無線接続します。

メモ 接続方法については、リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書 P113 をご覧ください。

WPS アイコンをクリックした場合

1 「WPS 用無線セキュリティー設定」の項目で、SSID と暗号化の種類、暗号化キーを確認します。

WPS用無線セキュリティー設定

WPSステータス	configured	解除
11g	SSID セキュリティー 暗号鍵	xxxxxxxxxxxx WPA/WPA2 mixedmode - PSK TKIP/AES mixedmode xxxxxxxxxxxxx

2 上記で確認した SSID と暗号化の種類、暗号化キーを使って無線接続します。

メモ
- セキュリティーが「WPA/WPA2 mixedmode - PSK TKIP/AES mixedmode」となっている場合は、WPA2-PSK-AES（推奨）または WPA-PSK-TKIP で接続してください。
- 接続方法については、リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書 P113 をご覧ください。

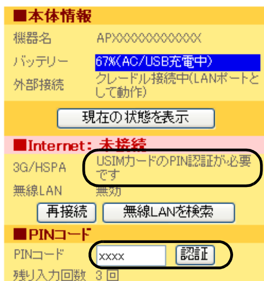
FOMA カードがロックされたときは

FOMA カードがロックされると、本商品の設定画面を表示した際に「USIM カードの PIN 認証が必要です」または「USIM カードの PIN 認証がロックされています」というメッセージが表示されます。その場合は、以下の手順に従って、ロックを解除してください。

「USIM カードの PIN 認証が必要です」と表示される場合

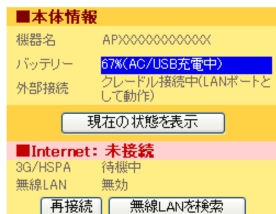
1　「設定画面を表示する」（P67）の手順１～４を行います。

2　設定画面が表示されたら、「USIM カードの PIN 認証が必要です」というメッセージが表示されていることを確認し、FOMA カードに設定されている PIN コードを入力して、［認証］をクリックします。



メモ　PIN コードは 3 回まで入力可能です。3 回以上入力を誤ると、PIN ロック状態となり、解除を行うには PIN ロック解除コードが別途必要になりますので、ご注意ください。

3 ロックが解除されると、画面から「USIM カードの PIN 認証が必要です」というメッセージが表示されなくなります。

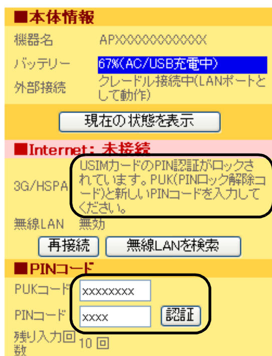


以上で設定は完了です。

「USIM カードの PIN 認証がロックされています」と表示される場合

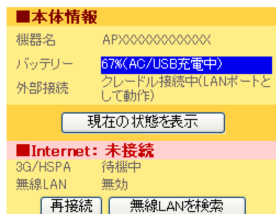
1　「設定画面を表示する」（P67）の手順１～４を行います。

2　設定画面が表示されたら、「USIM カードの PIN 認証がロックされています」というメッセージが表示されていることを確認し、FOMA カードに設定されている PIN コードと、ご契約時に通知された PUK コードを入力し、［認証］をクリックします。



メモ　PUK コードは 10 回まで入力可能です。10 回以上入力を誤ると、完全にロックされてしまいます。完全にロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

3 ロックが解除されると、画面から「USIM カードの PIN 認証がロックされています」というメッセージが表示されなくなります。



以上で設定は完了です。

MEMO

6 付録

製品仕様

本体 / クレードル

無線インターフェース（LAN 側）	準拠規格	IEEE802.11b / IEEE802.11g ARIB STD-T66（IEEE802.11b/g）
	データ転送速度	IEEE802.11g　6/9/12/18/24/36/48/54Mbps IEEE802.11b　1/2/5.5/11Mbps
	モード	アクセスポイント（AP）モード
	周波数範囲	2412 ～ 2472MHz　1 ～ 13ch ※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオなどとは混信しませんが、これらの機器が 2.4GHz 帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。
	ポート数	1 ポート

無線インターフェース（Internet 側）	準拠規格	IEEE802.11a / IEEE802.11b / IEEE802.11g ARIB STD-T71（IEEE802.11a） ARIB STD-T66（IEEE802.11b/g）
	データ転送速度	IEEE802.11a/g　6/9/12/18/24/36/48/54Mbps IEEE802.11b　1/2/5.5/11Mbps
	モード	ステーション（STA）モード
	周波数範囲	IEEE802.11a　W52　36/40/44/48ch（5180 ～ 5240MHz） W53　52/56/60/64ch（5260 ～ 5320MHz） IEEE802.11b/g　1 ～ 13ch（2412 ～ 2472MHz） ※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオなどとは混信しませんが、これらの機器が 2.4GHz 帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。
	ポート数	1 ポート
3G インターフェース	準拠規格	3GPP W-CDMA Release 99 HSUPA release 6 HSDPA release 5
	データ転送速度	HSDPA　7.2Mbps HSUPA　5.7Mbps W-CDMA　384kbps
	周波数範囲	Band I　2100MHz　UP　：1920 ～ 1980MHz Down　：2110 ～ 2170MHz Band VI　800MHz　UP　：830 ～ 840MHz Down　：875 ～ 885MHz Band IX　1700MHz　UP　：1749.9 ～ 1784.9MHz Down　：1844.9 ～ 1879.9MHz
	ポート数	1 ポート

クレードル	準拠規格	IEEE802.3u（100BASE-TX） IEEE802.3（10BASE-T）
	データ転送速度	10/100Mbps（自動認識）
	ポート数	1 ポート（AUTO-MDIX 対応）
対応 USIM カード		NTT ドコモ　FOMA カード
その他本体外部インターフェース		mini USB（USB1.1/2.0 対応）× 1 microSD カードスロット（SDHC 対応、最大 32GB）× 1
microSD カード推奨フォーマット形式		FAT16（SD 規格）、FAT32（SDHC 規格）
使用電源		AC100V ± 10%　50/60Hz（AC アダプタ使用時） BF-01B 専用バッテリー（電池パック使用時）
消費電力		最大通信時　2.5W 一般通信時　1.0W スタンバイ時　0.22W
連続通信時間		一般通信時　6 時間 スタンバイ時　30 時間 ※ 動作時間は使用環境により異なります。
動作環境		温度：　0 ～ 35 ℃ 湿度：　0 ～ 80%（結露なきこと）
外形寸法	本体	約 95.0（W）× 約 64.4（H）× 約 17.4（D）mm
	クレードル	約 64.3（W）× 約 21.2（H）× 約 48.3（D）mm
重量	本体	約 105g（電池パック装着時）
	クレードル	約 35g

本商品には、GNU General Public License（GPL）または GNU Lesser General Public License（LGPL）でライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、当社のホームページ（http://www.nttdocomo.co.jp/）をご確認ください。

電池パック

品名	電池パック BF01
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.7V
公称容量	1880mAh

AC アダプタ

入力	AC100 ～ 24V　50/60Hz　11.2 ～ 14.8VA
出力	DC 5V　1A

リファレンスガイドの参照方法

各種設定事例や画面説明、各ソフトウェアについての詳細は、当社ホームページ※に掲載しているリファレンスガイドに記載されています。
リファレンスガイドは、以下の手順で参照できます。

※ 本書の最新情報もダウンロードできます。

⚠注意 リファレンスガイドを参照するには、パソコンに Adobe Reader がインストールされている必要があります。Adobe Reader がインストールされていない場合は、Adobe サイト（http://get.adobe.com/jp/reader/）より最新版の Adobe Reader をダウンロードしてインストールしてください。

1 ブラウザなどから、当社のホームページ（下記アドレス）を表示します。
（http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html）

メモ 本書 P52 の手順６の画面にて、「マニュアルを読む（ドコモのホームページへ）」をクリックしても当社のホームページが表示されます。

2 「検索方法」にて、本商品の型番（BF-01B）を入力し、[検索] をクリックします。

3 「取扱説明書ダウンロードサービスの利用条件（利用同意文）」が表示されたら、内容を確認し、[同意する] をクリックします。

メモ リファレンスガイドを参照するには、利用同意文に同意いただく必要があります。

4 「一括ダウンロード」または「項目別ダウンロード」にて、リファレンスガイドを参照してください。

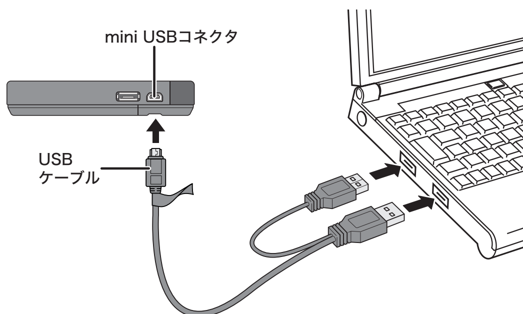
ソフトウェアの削除

本商品の使用を中止したり不要になった場合は、以下の手順でソフトウェアを削除してください。

メモ アンインストールは、管理者権限のあるユーザー（Administrator など）で行ってください。それ以外のユーザーで行うと、正常に削除できない場合があります。

1 本商品の電源を ON にします。

2 付属の USB ケーブルを本商品とパソコンに接続します。



3 ［スタート］－［（マイ）コンピューター］を選択します。

4 ［BF-01B 専用ランチャー］をダブルクリックします。


BF-01B 専用 ランチャー (H:)

5 ［Launcher.exe］をダブルクリックします。

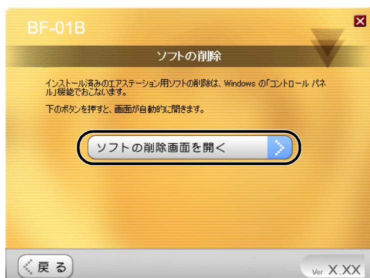


メモ Windows 7/Vista をお使いの場合、「自動再生」画面が表示されることがあります。その場合は、「BF-01B 専用ランチャーを開く」をクリックしてください。また、インストール中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］または［続行］をクリックしてください。

6 ［削除］をクリックします。



7 [ソフトの削除画面を開く] をクリックします。



8 BUFFALO クライアントマネージャ V（Windows XP の場合は BUFFALO クライアントマネージャ 3）、BUFFALO エアステーション設定ツールを選択し、[アンインストールと変更] または [アンインストール] をクリックします。



メモ　上記は Windows 7 の画面です。お使いの Windows によっては、画面が異なることがあります。

9 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] または [続行] をクリックします。

10 以降は画面の指示に従って、ソフトウェアを削除します。

以上でソフトウェアの削除は完了です。

用語集

AES

IEEE802.11i で策定されている次世代暗号化方式です。「WEP」脆弱性の原因は、採用している暗号方式（RC4 暗号）自体に解読手法が存在するためです。「TKIP」にて脆弱性の改善はされていますが、暗号方式自体を抜本的に見直したものが「AES」です。

AOSS

AOSS（AirStation One-Touch Secure System）は、バッファロー社が開発した無線 LAN の接続や暗号化など各種セキュリティー設定を簡単に行うためのシステムです。機器に搭載されたボタンを押すことで、自動的に接続・セキュリティー設定を行うことができます。

DHCP サーバ

DHCP サーバはネットワークに関連した情報（IP アドレス、ルータの IP アドレス、ドメイン名など）を管理します。DHCP クライアントが起動すると、自動的に IP アドレスなどの情報を割り振ります。DHCP サーバがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンや無線親機に、IP アドレスなどを手動で設定する必要がなくなります。

DNS

コンピュータ名やドメイン名を、それぞれに対応した IP アドレスに変換するシステムです。

MAC アドレス

ネットワーク機器ごとの固有の物理アドレスです。先頭からの 3bytes のベンダーコード（メーカーの ID）と、残り 3bytes のユーザーコードの 6bytes で構成されます。Ethernet ではこのアドレスを元にフレームの送受信を行います。

SSID

無線機器と無線親機の通信時に混線しないために設定する ID です。無線機器が無線親機と通信するときは、同一の SSID を設定します。

TKIP

無線のデータ暗号化方式である WPA に用いられている暗号化プロトコルです。従来の暗号化方式である「WEP」にあった同じ暗号化キーを使いつづけるため発生する脆弱性を克服するため、キーを自動的に変更し、暗号化を行うように改良された暗号化プロトコルが「TKIP」です。定期的に使用する暗号化キーを変更するため、キーの解析が困難となり、より強固なセキュリティーを持った無線 LAN を構築することが可能です。

WEP

無線 LAN の規格である 802.11 に追加されたデータを暗号化する機能です。WEP（暗号化）キーに 64 ビット長のデータを使う方式と 128 ビット長のデータを使う方式の２つがあります。この WEP（暗号化）キーを元に送受信データを暗号化します。万一、第三者に電波を傍受されても、暗号化されたデータの解読は困難です。ビット数の値が大きいほど（64bit ＜ 128bit）暗号が複雑化し、セキュリティー度が向上します。無線親機に WEP 設定を行うと、同じ WEP キーを設定した無線機器からしか接続ができなくなります。

WPA

無線 LAN の暗号化方式のひとつで、従来採用されてきた WEP の弱点を補強し、セキュリティー強度を向上させたものです。従来の SSID と WEP キーのセキュリティーに加え、Pre-Sheared Key（PSK）や、PPP Extensible Authentication Protocol（EAP）などを用いて認証を行い、無線親機から配布される暗号化キーで接続させます。また、認証によって配布された暗号化キーを一定時間で自動更新すること

で、安全性を向上させています。暗号化についても「TKIP」と呼ばれる暗号プロトコルを採用するなど改善が加えられています。

WPA2

WPA がセキュリティー標準規格「IEEE802.11i」に採用予定であった暗号化の一部から作成されているのに対して、WPA2 では正式に策定された「IEEE802.11i」に基づいて作成されています。
従来の WPA では、暗号プロトコルに「TKIP」を採用していましたが、より強力な暗号化技術である「AES」をサポートすることでセキュリティー強度を従来より向上させています。

WPS

WPS（Wi-Fi Protected Setup）は、無線 LAN の普及推進団体である Wi-Fi Alliance によって策定された、無線 LAN の接続や暗号化など各種セキュリティー設定を簡単に行うための規格です。機器に搭載されたボタンを押すことで接続設定を行うプッシュボタン式と、機器固有情報を相手側機器に登録することで接続設定を行う PIN コード式があり、自動的に接続・セキュリティー設定を行うことができます。

グローバル IP アドレス

インターネットに直接接続でき、インターネット上では重複しない IP アドレスです。

ゲートウェイ

ネットワークとネットワークを結ぶ機器・パソコン・ソフトウェアです。パケットが LAN の外に出て行くときに通過します。

サブネットマスク

IP アドレスを、ネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けるための値です。ルータがパケットを送受信するために用いられます。

ドメイン名

インターネットに接続するコンピュータは IP アドレスと呼ばれる数字を使って識別されていますが、ドメイン名は数字よりも簡単に覚えられるようにと考えられた文字で表現された名前です。

パケット

ネットワーク上を流れるデータの単位です。ヘッダー（宛先アドレスや送信元アドレス）と情報データ（実データ）から構成されます。

プライベート IP アドレス

インターネットに直接接続せず、閉じたネットワーク内同士であれば、重複して自由に使用することができる IP アドレスです。プライベート IP アドレスには、次のような種類があります。

クラス A：10.xxx.xxx.xxx/255.0.0.0
クラス B：172.16.0.0 ～ 172.31.255.255/255.255.0.0
クラス C：192.168.xxx.xxx/255.255.255.0

索引

あ行

か行

さ行

は行

ら行

アルファベット

数字

MEMO

MEMO

総合お問い合わせ先
<ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一般のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一般のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてご確認の上、お近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/
iモードサイト　iMenu　⇒　お客様サポート　⇒　ドコモショップ

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　株式会社バッファロー


Li-ion 00

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

'10.9（第1版）

35011593 ver.01 1-01